

【第2問】下記の（問3）～（問5）について解答しなさい。

問3

下記は、経済用語についてまとめた表である。下表の経済用語に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

| 経済用語 | 主な内容 |
|------|---|
| (ア) | 生産や雇用など、さまざまな経済活動での重要かつ景気に敏感な指標の動きを統合することによって、景気の現状把握および将来予測に資するために作成された統合的な景気指標であり、内閣府が公表している。 |
| (イ) | 企業を対象に自社の現況や先行きの見通し等について行うアンケート調査であり、日本銀行が公表している。 |
| (ウ) | 家計が購入する商品やサービスの価格変動を表した指数で、総務省が公表している。 |

景気動向指数○

- 空欄（ア）に入る用語は、「国内総生産(GDP)」である。
- 空欄（イ）に入る用語は、「日銀短観」である。
- 空欄（ウ）に入る用語は、「消費者物価指数」である。

問4

下記＜資料＞に関する次の記述の空欄（ア）、（イ）にあてはまる数値または語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。なお、空欄（ア）の解答に当たっては、小数点以下第3位を四捨五入すること。

＜資料＞

| | MA株式会社 | MB株式会社 |
|------------|--------|--------|
| 株価 | 4,000円 | 5,000円 |
| 1株当たり年間配当金 | 30円 | 40円 |
| 1株当たり純資産 | 3,000円 | 3,600円 |
| 1株当たり利益 | 60円 | 80円 |

$$\frac{\text{株価}}{\text{純資産}} = \frac{4000}{3000} = 1.33\ldots$$

- MA株式会社における株価純資産倍率(PBR)は、(ア)倍である。
- MA株式会社とMB株式会社の配当利回りを比較した場合、配当利回りが高いのは、(イ)株式会社である。

- (ア) 1.33 (イ) MA
- (ア) 1.33 (イ) MB
- (ア) 0.75 (イ) MB

$$\text{MA} = \frac{30}{4000} = 0.75$$

$$\text{MB} = \frac{40}{5000} = 0.8$$